

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
子どもの保健Ⅱ Child Health II		児童教育学科 幼児教育学専攻	2年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	1	選択	安富 雅恵	
概要				
<p>子どもを健康で安全に保育するという保育所保育指針を踏まえて、子どもの発育・発達状況や健康状態を把握し、積極的に健康の保持増進を図り、疾病や事故の予防・対処に向けての視点を養う。その為には、子どもの保健Ⅰで習得した知識を基礎に、保育実践に必要な保健活動を具体的に学び、子どもの保健の基本的援助能力を養うことを目的とする。</p>				
到達目標				
<p>(1) 子どもと健康の意義を理解し、地域及び保育の場における保健活動の内容について述べる事が出来る。</p> <p>(2) 子どもを取り巻く環境と子どもの心とからだの健康課題を考察し、発達段階に応じた保健活動を展開する基本について述べる事が出来る。</p> <p>(3) 子どもの健康についての個別性を理解し、疾病の適切な対応・事故防止など健康安全教育と管理のあり方や方法について述べる事が出来る。</p>				
授業内容とすすめ方				
<ol style="list-style-type: none"> 1 保健活動の計画と評価（保育における保健活動） 2 保健計画の作成と活用、保健活動の記録と自己評価 3 子どもの保健に関する個別対応と子どもの集団全体の健康と安全・衛生管理 4 子どもの保健と環境（保健における養護と教育の一体性） 5 子どもの健康増進と保育の環境、子どもの生活習慣と心身の健康 6 子どもの発達援助と保健活動 7 子どもの疾病と適切な対応（感染症の予防と対策） 8 個別的な配慮を必要とする子どもへの対応（熱性痙攣、てんかん他） 9 個別的な配慮を必要とする子どもへの対応（乳児の病気、障害のある子どもへの対応） 10 事故防止および健康管理・安全管理（組織的取り組み） 11 けがや急な病気への対応の基本 12 子どもに起きやすい事故の応急処置 13 子どもに起こりやすい症状とケア 14 災害への備えと危機管理（危機管理、非常災害などへの取り組みの実際等） 15 心とからだの健康問題と地域保健活動 （子どもの養育環境と心の健康問題、心とからだの健康づくりと地域保健活動） 				
テキストおよび 参考文献	<p>テキスト：「子どもの保健Ⅱ」佐藤益子/中根淳子編著 ななみ書房 参考文献：「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 1年次使用のテキスト「子どもの保健Ⅰ」、必要時資料配布</p>			
メッセージ な	<p>子どもの保健の成果は実践を通して得られるものである。健康という視点から子どもを取り巻く環境や現状・課題について関心を高めるためには、授業前にテキストの該当箇所を予習して臨むこと。 保育士証：必修科目</p>			

ループリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 子どもと健康の意義を理解し、地域及び保育の場における保健活動の内容について述べる事が出来る。	ほぼ完璧に述べている。	大きな間違いがなく、基本を踏まえて述べている。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を踏まえて述べている。	内容について、述べていない。	定期試験（知識・理解） 小レポート（関心・意欲・思考力・判断力・表現力）	60%
(2) 子どもを取り巻く環境と子どもの心とからだの健康課題を考察し、発達段階に応じた保健活動を展開する基本について述べる事が出来る。	ほぼ完璧に述べている。	大きな間違いがなく、基本を踏まえて述べている。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を踏まえて述べている。	基本について、述べていない。		10%
(3) 子どもの健康についての個別性を理解し、疾病の適切な対応・事故防止など健康安全教育と管理のあり方や方法について自分の考えを述べる事が出来る。	子どもを取巻く現状や課題を見据えて、ほぼ完璧に自分の考えを述べている。	子どもを取巻く現状認識や課題の捉え方について、倫理的な問題もなく、自分の考えを述べている。	子どもを取巻く現状認識や課題の捉え方に間違いや誤字脱字等がいくつかあるが、最低限、自分の考えを述べている。	自分の考えを述べていない。	課題レポート（関心・意欲・思考力・判断力・表現力）	30%